

社会福祉法人よつば福祉

概況及び事業計画（2019年4月1日～2020年3月31日）

上野デイハウスしもつきは、2006年3月に通所介護事業所として建物を新築して開業しました。2009年に社会福祉法人として事業を移管し、昨年6月からは、定員18名のゆったりした地域密着型デイサービスになりました。昨年3月にはケアプランとまとと本部が、しもつきの隣家（旧ゆずの家）に引っ越し、4月より、理事長の津田自身が、しもつきの管理者に就任ししています。しもつきで利用者と過ごしていて今更ながら、美味しい食事とゆったりとスタッフが寄り添う良いデイサービスだと実感しています。

昨年度は、津田が外回りの営業活動をおこない、副施設長2年目の西川が核になり、プログラムの試行錯誤（おやつレク、ラオケ、習字他）やケアマネージャー対象の試食会をおこないました。しかしながら、利用者が増えません。今年度は△300万円の赤字予想です。理事長の責任を痛感しています。津田自身も69歳となりなんとか世代交代をとは思っていますが、求人募集をしても今のところ応募がなく、役不足ながら責任をもって続投する決意です。

来期については、一緒に働いているスタッフを核に、魅力ある事業内容を模索していきます。デイサービスが乱立していますが、ここに来てよかったと利用者の方がたに選んでいただき、喜んでいただけるような居場所にしていきたいと思っています。現在は1日の利用者が10名にまで減少しています。なんとかおひとりづつ利用者を増やしていきます。ケアプランとまとと一緒にやってやることも取り組みます。

ケアプランとまとは、自主的に当番で24時間オンコール体制をとっています。2018年度はスタッフ全員がケアマネ資格の更新となり、また事業所加算を取りやめたことで（スタッフ配置が不足のため）収益が低迷しています。ケアプランとまとが事業継続するためには、現管理者が主任ケアマネの資格を取得する必要があるのですが、はやくて2年後です。まずは目いっぱい利用者を増やしてから、新規で主任ケアマネを採用するという方針です。

来期は、各部署での研修による技能アップと、相互の交流をあわせて、よつば福祉の力を強くしていきたいと考えています。